観光社会資本の事例

テーマ 歴史的な町並みを生かしたまちづくり

【施設の状況写真】



うだつの上がる町並みは、重要伝統的建造 物群保存地区に指定されている。



町並みと調和するポケットパークが整備され、観光客にも利用されている。

【施設の利用写真】



うだつの上がる町並みを散策する観光客



「美濃和紙あかりアート展」の模様

【観光資源としての利用状況】

美濃市は、古くから和紙の産地として知られており、和紙をシェード(かさ)に用いた燈火「美濃和紙あかりアート」のアート展が毎年秋、「町並み」そのものを舞台に開かれており、多くの観光客でにぎわいを見せています。

テーマ 歴史的な町並みを生かしたまちづくり

【社会資本の基礎データ】

〇名称 町並み景観

〇所在地 岐阜県美濃市

〇事業名 まちづくり総合支援事業

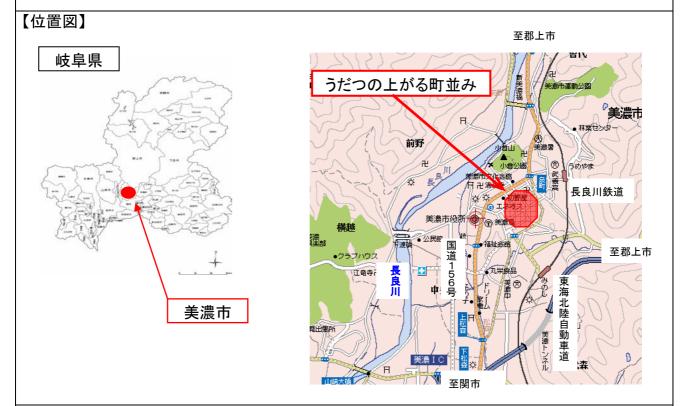
〇事業主体 美濃市

〇事業期間 平成12年~平成15年

【社会資本の役割・効果】

「うだつの上がる町並み」として、平成11年に国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されたが、老朽化した舗装面・電柱・電線・統一感のない標識等があり、町並み景観を阻害していました。

そこで、電線類の地中化、歴史的な町並みと調和する舗装・標識・照明灯、観光客の休憩場に利用できるポケットパーク等の整備を行うことにより、一層「うだつの上がる町並み」の魅力を引き出しています。



【関連ホームページ】 美濃市観光協会 http://www.minokanko.com/